

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
【部門区分】第7部門第3区分  
【発行日】平成17年2月10日(2005.2.10)

【公表番号】特表2000-513160(P2000-513160A)  
【公表日】平成12年10月3日(2000.10.3)  
【出願番号】特願平10-502535  
【国際特許分類第7版】  
H 0 4 L 12/28  
【F I】  
H 0 4 L 11/20 E

【手続補正書】  
【提出日】平成16年6月8日(2004.6.8)  
【手続補正1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】補正の内容のとおり  
【補正方法】変更  
【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成16年6月8日

特許庁長官 殿

## 1. 事件の表示

特願平10-502535号

## 2. 補正をする者

名称 ブリティッシュ・テレコミュニケーションズ・パブリック・  
リミテッド・カンパニー

## 3. 代 理 人

住所 東京都千代田区霞が関3丁目7番2号

鈴榮特許綜合法律事務所内

〒100-0013 電話03(3502)3181 (大代表)

(5847) 弁理士 鈴 江 武 彦



## 4. 自発補正

5. 補正により減少する請求項の数 1

6. 補正の対象 請求の範囲

## 7. 補正の内容

- (1) 請求の範囲を別紙の通り訂正する。
- (2) 図6および図7を別紙の通り訂正する。



方 式 査 査



## 請求の範囲

1. 一連のパケットの形態を持つパケット構造でネットワークを通してコネクションレスデータグラムを送信する方法において、コネクションレスデータグラムのルーティング情報を含むヘッダを第1のパケット構造のペイロードにマッピングし、ネットワークの中間ノードにおいて第1のパケットにコネクションレスルーティング機能を実行する方法。
2. コネクションレスデータグラムが複数のATMセルを含み、ネットワークの中間ノードにおいて、ATMセルの第1のセルにコネクションレスルーティング機能を実行し、残りのセルがATMレイヤーに残っている請求項1記載の方法。
3. 発信ノードにおいて実行されるAAL (ATMアダプテーションレイヤー) プロセスによりコネクションレスデータグラムをATMセル構造にセグメント分けする請求項1または請求項2記載の方法。
4. セル構造の長さを検出し、中間ノードにおけるバッファスペースを予約し、予約したスペースがATMセル構造全体を保持するのに不十分である場合にそのセル構造のセルを廃棄する手段を含む請求項1ないし請求項3のいずれか1項記載の方法。
5. 中間ノードまたは各中間ノードにおいて、コネクションレスデータグラムヘッダエラーチェックプロセスをセル構造の第1のセルのペイロードに実行する請求項3または請求項4記載の方法。
6. コネクションレスデータグラムヘッダにおけるエラーを中間ノードにおいて検出した場合に、すべてのデータグラムセルをその中間ノードにおいて廃棄する請求項1ないし請求項5のいずれか1項記載の方法。
7. 発信ノードにおいてヘッダの長さをチェックし、この長さが設定値を越えた場合に、新しい部分的なCRCフィールドをオリジナルコネクションレスデータグラムヘッダフィールドに挿入し、中間ノードまたは各中間ノードにおいて、エラーがないかこの部分的なCRCフィールドをチェックする請求項1ないし請求項6のいずれか1項記載の方法。
8. ATMスイッチと、  
コネクションレスデータグラムを受け入れ、コネクションレスデータグラム中のヘッダ情報がATMセル構造の第1のセルのペイロードに挿入されるようにこのデータグラムを複数のATMセルに変換する手段と、  
コネクションレスデータグラムのヘッダフィールドの長さを検出し、これらのフィールドの長さが、ATMセル構造の第1のセルのペイロードに含むには大きすぎる場合に部分

的なヘッダチェックサムを生成し、宛先アドレスまでと宛先アドレスを含むコネクションレスデータグラム（UDP）のヘッダフィールドのみとともに第1のATMセルのペイロードにこのチェックサムを挿入する手段とを具備するデータネットワーク用のスイッチングノード。

9. 抽出されたヘッダ命令が誤っている場合にすべてのセルを廃棄する手段を含む請求項8記載のノード。

10. 請求項8または請求項9記載のスイッチングノードと組み合わせられた請求項8に記載したスイッチングノードを含む多重レイヤーネットワークを通してコネクションレスデータグラムを送信するシステム。

4/5

FIG. 6

|      |    |    |    |    |
|------|----|----|----|----|
| Y    | HL | ST | TL |    |
| Id   |    |    | FB | FD |
| TtL  |    | Pr | HC |    |
| SIPA |    |    |    |    |
| DIPA |    |    |    |    |
| O    |    |    |    | P  |
| IPDP |    |    |    |    |

FIG. 7

|     |   |      |    |
|-----|---|------|----|
| V   | P | FL   |    |
| -PL |   | Py   | HL |
|     |   | SIPA |    |
|     |   | SIPA |    |
|     |   | SIPA |    |
|     |   | SIPA |    |
|     |   | OIPA |    |
|     |   | OIPA |    |
|     |   | OIPA |    |
|     |   | OIPA |    |
|     |   | IPDP |    |